

令和3年度 事業計画書

〔野外活動課（北方自然教育園）〕

1. 事業方針

札幌市北方自然教育園は、札幌市の野外教育施設として学校教育における自然体験活動機会の提供を第一義と捉え、中でも農業体験を中心とした持続可能な社会の理解を深める体験活動を安定的に提供します。

また、学校教育におけるサポート施設として学習補助教材を開発し積極的に SNS、HP 等で配信し、コロナ禍においても体験に関わる授業が停滞しないよう、新しい生活様式の中で見出す自然体験活動の新たな形を模索してまいります。

生物教材配付事業においては、教材飼育計画の策定や飼育方法を継続して見直し、職員の飼育にかかる業務の軽減を図りつつ、生物教材の安定的な確保に努めます。定量的な分析・統計資料を作成し、確立した運営のため調査研究を行います。

施設管理体制においては、開設から 34 年以上過ぎ安全・安心な施設機能を維持するため、計画的な施設管理を進める方策を所管局とも調整しながら、より効果的な維持管理を進めます。

2. 重点目標

(1) 地域活動等事業

- ①市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供。
- ②地域住民との関係性を深めるための事業実施

(2) 施設運営等事業

- ①小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供および学習機会の強化
- ②生物教材配付の生物飼育方法の見直しと幼保小中学校への安定的な供給
- ③SNS、HP、オンライン会議等を活用した小中学校に対する事前および事後学習の支援
- ④学びの農園（Learning Garden）実施に向けての調査研究
- ⑤野外施設部内の連携強化及び、他セクションの強みを生かした事業連携強化を図る。
- ⑥特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザインとの連携

3. 現環境下における事業実施方法等の対応策

【施設管理】

感染症対策を十分に取り所管局と協議の上、貸室定員半数に削減し利用者を受け入れ。

【事業運営】

長時間拘束における感染回避のため1回の事業参加定員を50%に削減し利用者を受け入れ。

4. 数値目標（具体的な根拠を示すこと）

(1) 体験農場実施校数の増

2020年度目標 延べ27校800人 【実績（見込み） 延べ26校881人】

2021年度目標 延べ53校3,000人

(2) 学習館入館料金の収入増

2020年度目標 86,200円 【実績（見込み） 123,000円】

2021年度目標 123,000円

(3) 共通目標

①利用者総数

2020年度目標 4,000人 【実績（見込み） 4,334人】

2021年度目標 6,500人

②事業プログラム参加者数

2020年度目標 650人 【実績（見込み） 442人】

2021年度目標 500人

③参加者アンケートにおける満足度

2020年度目標 86% 【実績（見込み） 86%】

2021年度目標 85%以上

5. 事業実施計画書（地域活動等事業）

（単位：千円）

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	団体指導事業 (継続)	野外活動、自然環境理解、工作活動のテーマに沿った内容について、各種団体等から指導依頼を市民活動支援として対応する。	【令和2年度実績予測】 通年	0	0
			【令和3年度】 通年	0	0
2	社会的課題解決事業 (継続)	自然体験活動に関する施設やノウハウを基に、子供の貧困など社会的課題の解決に向かう事業を実施。子ども育成課や若者支援施設等と連携して課題解決を目指す。	【令和2年度実績予測】 通年	0	0
			【令和3年度】 通年	10	0
3	児童会館誘致事業 (継続)	北方自然教育園の地域との連携事業として、児童会館などと連携しながら、果樹の収穫体験を通して、自然環境や食について考え、野外活動での集団行動と協力関係を増進させる機会を提供する。 【対象】市内児童会館 【参加人数】20名×4館	【令和2年度実績予測】 中止	0	0
			【令和3年度】 10月4回	24	0
4	自然環境関連フォーラム (継続)	野生動物や樹木といった自然環境の変化と暮らしをテーマとしてオンライン事業を実施し広く自然と人との共生を伝え考える機会を提供する。 【対象】大人 【参加人数】15名程度	【令和2年度実績予測】 2月1回 リモートにて実施	0	10
			【令和3年度】 2月1回	10	10

6. 事業実施計画書（施設運営等事業）

ア. 体験農場の機会提供に関する事業

（単位：千円）

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	体験農場 (レベルアップ)	市立幼稚園、学校の学習指導要領と関連付けながら、農業体験を提供する。 自然環境と作物との関係を考え、仲間と共通体験を行う機会を提供する。また、水田の体験学習については田植えから脱穀、精米までの一連の流れを理解し、食べ物大切さを考える機会を提供する。 新たな試みでオンラインによる生育状況のオンライン授業を実施する。 〔対象〕市内小学1年生から中学校3年生 〔参加人数〕53校3,000名	【令和2年度実績予測】 6月～11月 (26校881名)	0	600
			【令和3年度】 5月～11月	0	600

イ. 生物教材提供に関する事業

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
2	教材用生物の提供 (継続)	市立幼稚園・学校等に対してイネ・ヘチマ・コオロギ・カイコの生物教材を配付することにより昆虫や植物の生態を理解する機会を提供する。 これまでの生物教材飼育方法を見直し、より安定的な教材の提供を目指す。 〔対象〕市内幼保小中学校220校程度	【令和2年度実績予測】 配付6月1回 (207校)	0	195
			【令和3年度】 配付6月1回	0	300

ウ. 自然体験学習の提供に関する事業

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
3	北方フルーツファーム (継続)	果樹(ナシ)の摘果や袋掛けなど果樹農家体験事業をとおして北海道の食文化や食育に対する理解と関心を深める機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕12組程度	【令和2年度実績予測】 6月、10月 全4回(24組88名)	24	5
			【令和3年度】 6月、10月 2日間×2回	24	5

4	北方ファーム (継続)	作物の農業体験事業をとおして、野菜の生育状況の観察や収穫を行ない、北海道の食文化や教育に対する理解と関心を深める機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕10組程度	【令和2年度実績予測】 中止	0	0
			【令和3年度】 5月、7月、8月、 2日間×3回	30	30
5	トンボの観察会 (継続)	昆虫の専門家にトンボの生態などの講義や観察と採取体験をとおして生き物の生息する自然環境について考える機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕5組程度	【令和2年度実績予測】 中止	0	0
			【令和3年度】 8月1回	5	5
6	自然素材のクリスマスリース作り (継続)	季節や催事に合わせて、白川地域や北方自然教育園内で採取された自然素材を活用し、クリスマスリースを製作する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕5組程度	【令和2年度実績予測】 催行中止	0	0
			【令和3年度】 11月1回	5	5
7	新年しめ飾りづくり (継続)	自然素材を活用したものづくり体験事業をとおして、創作活動の楽しさや工夫する力を養うとともに、伝統工芸や風習など日本古来からの文化に触れる機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕20組程度	【令和2年度実績予測】 中止	0	0
			【令和3年度】 12月 2日間×2回（午前・午後）	30	5
8	家族でわくわく貝化石観察会 (継続)	豊平川の河川敷にて貝化石の観察を実施して、家族で豊平川周辺の地層や札幌の地形の成り立ちについて学習し、自然について考える機会を提供する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕3組程度	【令和2年度実績予測】 7月1回 (3組8名)	3	0
			【令和3年度】 7月1回	3	3

オ. 情報の収集および提供に関する事業

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
9	情報収集・提供事業 (継続)	札幌市および自然情報誌等へ施設および自然情報の提供を行う。 札幌市等主催による事業への協力を行う。	【令和2年度実績予測】 通年	0	0
			【令和3年度】 通年	0	0

カ. 市民の自主的な活動および交流の支援

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
10	市民ボランティア事業 (継続)	市民ボランティア(大人対象)の人材育成事業の実施。 園内環境整備や主催事業サポート、展示等活動を通じて市民の自主的な活動を支援し自己実現の機会を提供する。	【令和2年度実績予測】 通年	0	0
			【令和3年度】 通年	0	54
11	教育機関支援事業 (継続)	北方自然教育園のフィールドを高等教育機関、社会教育等団体の自然学習・調査研究活動等に活用し積極的な学習支援および指導者養成を行う。また、みなみの杜支援高等学校の「協育活動」と連携することにより学習支援を行う。	【令和2年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和3年度】 通年・随時	0	5

キ. 自然体験や展示に関する相談業務

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
12	相談業務 (継続)	自然体験や展示に関する各種相談に対応する。 専門的な内容に関しては、道・市・大学等の博物館、科学館等専門機関と連携し対応する。	【令和2年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和3年度】 通年・随時	0	0

ク. その他設置目的を達成するために必要な事業

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
13	森と池の生き物たちを観察しよう～夏休み親子観察会～ (継続)	森と水辺の生き物を中心とした観察や調査体験をとおして、自然環境に対する理解を深め、夏休みの思い出作りとする。(北海道自然観察協議会との共催事業) 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕5組程度	【令和2年度実績予測】 8月1回 (9組34名)	0	0
			【令和3年度】 8月1回	0	0
14	他施設・団体連携事業 (新規)	施設運営の趣旨を理解し、賛同する地域・企業・組織・他施設と連携し各種事業を実施することにより野外教育施設の可能性を拡大する。 事業や展示協力として、環境プラザ・東海大学と連携(予定)	【令和2年度実績予測】 通年	0	0
			【令和3年度】 通年	0	0

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
15	教職員研修事業 (継続)	所管部局と連携し、主に新任小中学校教員を対象に教職員研修を実施する。体験農園および飼育栽培体験等について研修学習の機会を提供することにより各事業への理解を深める機会を提供する。 〔対象〕 市立小中学校教職員 〔参加人数〕 30人程度	【令和2年度実績予測】 7月1回 (30名)	0	0
			【令和3年度】 7月1回	0	0
16	ロビー展示 (継続)	学習館内での展示活動を通じて来館者の増加を図るとともに、環境保全および在来種の保護に係る啓発や情報発信に努める。 また、近隣の学生などと連携して展示方法の工夫やハンズオン展示を導入するなどして、より学習効果のある展示を模索する。 (参加定員なし)	【令和2年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和3年度】 通年・随時	0	10
17	大人の学び舎 「山野草講座」 (継続)	大人を対象とした自然教室で講師を招いて、山野草などの講義と山野草や山菜などの調査を行い、自然環境の学びの機会とする。 〔対象〕 20歳以上の大人 〔参加人数〕 5名程度	【令和2年度実績予測】 中止	0	0
			【令和3年度】 5月1回	5	6
18	親子サクラランボ採取 とジャム作り体験 (継続)	サクラランボの特徴や病害虫を学習しながら、収穫体験を行う。また講師を招いて、園内で収穫されたサクラランボを活用したジャム作り体験を実施する。 〔対象〕 小学生を含む家族 〔参加人数〕 10組程度	【令和2年度実績予測】 中止	0	0
			【令和3年度】 7月2回	10	10
19	フルーツ・スイーツ 倶楽部 (継続)	果実等地元の農産物を活用した石窯料理づくりの機会を提供する。定山溪自然の村との連携により実施する。 〔対象〕 小学生を含む家族 〔参加人数〕 3組程度	【令和2年度実績予測】 3組 (収穫のみ実施)	自然の 村 計上	自然の 村 計上
			【令和3年度】 9月1回	自然の 村 計上	自然の 村 計上

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
20	北方スノーシュー 野鳥観察&自然散策 (継続)	園内裏山を観察コースとした体験 機会の提供を行うことにより、冬 に自然に親しむ機会を提供する。 (年齢制限・定員なし)	【令和2年度実績予測】 1～3月随時	3	0
			【令和3年度】 1～3月随時	5	0
21	簡単工作会 (継続)	自然素材を用いた簡単工作を提供 することにより、手軽な自然素材 の工作を提供。 また、団体向けに雨天時などにも 活用できる簡単工作会や時期毎に テーマを設定した創作活動の機会 を提案する。 自然素材の収集についてはボラン ティアと連携して行う。 〔対象〕施設利用者 〔参加人数〕定員無し	【令和2年度実績予測】 中止	0	0
			【令和3年度】 通年・随時	5	5
22	使用承認等に関する 業務 (継続)	施設利用に係る受付および使用承 認を行う。 ・貸室(工作室・多目的室)の利用 受付 ・野外活動物品の貸出 ・学習館ロビー展示事業に関する 受付	【令和2年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和3年度】 通年・随時	0	0
23	広報業務 (継続)	リーフレット、ホームページ等 により貸室利用および団体指導プロ グラム等の周知を図る。 SNS等を活用した広報により自然 および施設情報の発信を行う。	【令和2年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和3年度】 通年・随時	0	0
24	調査・研究 (継続)	観光、社会的課題解決、医療など 野外活動および野外教育施設の可 能性を拡大するための調査を行 う。 また、「学びの農園」運営等を中心 として将来を見据えた学習機会の 創出のための研究を行う。	【令和2年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和3年度】 通年・随時	0	0